

# かしま 議会だより

第121号

令和7年3月定例会号

令和7年5月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



## 手話言語条例制定

3月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
議場開放コンサート	P5
新年度予算審議 討論	P6
一般質問(11名)	P7～P12
新年度予算審査特別委員会審査報告	P13
文教厚生産業委員会審査報告	P13
総務建設環境委員会行政視察報告	P14
特別委員会中間報告	P14～P15
環境未来都市特別委員会中間報告	P15
議会あれこれ／議長交際費	P16



鹿島市のホームページも  
ご覧ください。

鹿島市議会

検索



鹿島市公式アカウント  
てのひら市役所



いますぐ友だち追加！



定例会

25日  
・委員会審査報告  
・議案審議、質疑、討論、採決  
・閉会

24日  
・休会（議案整理）

23日  
・休会

22日  
・休会

21日  
・一般質問（2名）

20日  
・休会

19日  
・一般質問（3名）

18日  
・一般質問（3名）

17日  
・一般質問（3名）

16日  
・休会

15日  
・休会

14日  
・休会（議案整理）

13日  
・休会（議案整理）

12日  
・新年度予算審査特別委員会（産業部、審査、討論、採決）

11日  
・新年度予算審査特別委員会（建設環境部）

10日  
・新年度予算審査特別委員会（政策総務部）

9日  
・休会

8日  
・休会

鹿島市議会  
令和7年3月定例会  
会期日程  
1、会期  
自 令和7年2月20日  
至 令和7年3月25日  
2、日程  
【2月】  
20日・開会  
・会議録署名議員の指名  
・会期の決定  
・議案の一括上程  
（市長の提案理由説明）ほか  
21日・休会（議案研究）  
・発言内容通告締切（正午）  
22日・休会  
23日・休会  
24日・休会  
25日・休会（議案研究）  
26日・休会（議案研究）  
27日・議案審議、質疑、討論、採決  
28日・休会（議案研究）  
【3月】  
1日・休会  
2日・休会  
3日・議案審議、質疑、討論、採決  
4日・常任委員会（議案審査）  
5日・新年度予算審査特別委員会（開会、教育委員会）  
6日・新年度予算審査特別委員会（市民部）  
7日・休会（議案研究）

定例会

次のことを審議し決定しました

【令和7年3月定例会】

		釘尾勢津子	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村一堯	松田義太	勝屋弘貞	角田一美	伊東茂	福井正	松尾征子	中村和典	徳村博紀	採 決 結 果	
議案第1号	専決処分事項の承認について（令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第6号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第2号	令和7年度鹿島市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第3号	令和7年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第4号	令和7年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第5号	令和7年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第6号	令和7年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第7号	令和7年度鹿島市下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第8号	鹿島市手話言語の理解及び普及促進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第9号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第10号	鹿島市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例及び鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第11号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	退	○	議長	賛成多数	可決
議案第12号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	退	○	議長	賛成多数	可決
議案第13号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	退	○	議長	賛成多数	可決
議案第14号	鹿島市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第15号	一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第16号	鹿島市税条例及び鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第17号	鹿島市愛野青少年スポーツ振興基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第18号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第19号	鹿島市水道事業布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第20号	鹿島市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第21号	鹿島市非常勤消防団員に係わる退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第22号	令和6年度鹿島市一般会計補正予算（第7号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第23号	令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第24号	令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第25号	令和6年度鹿島市給与管理特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第26号	令和6年度鹿島市水道事業会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第27号	令和6年度鹿島市下水道事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第28号	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第29号	鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び鹿島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第30号	鹿島市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第31～42号	鹿島市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
諮問第1～2号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	適任
議員提案第1号	鹿島市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
請願第1号	鹿島市民交流プラザ浴室利用日曜日営業の再開に関する請願書の取り下げについて	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	承認

○…賛成    ×…反対    退…退席    欠…欠席



議案審議

# 議案審議

議案第2号

令和7年度鹿島市一般会計予算について



笠継 健吾 議員

質問 鹿島市の活性化についての予算の計上はあるか。鹿島市は県内最高峰の経ヶ岳、県営ダム最大の一望できる中木庭ダ

ムを有し、その周辺は雄大で、上流は浅瀬から溪谷へと繋がる大自然である。長崎県との県境でもあり国道444号線の車両の往来も活発化している。この佐賀県一の自然を活かした地域の活性化についてどう考えるか。

答弁 中木庭ダム周辺は、

議案第2号

令和7年度鹿島市一般会計予算について



伊東 茂 議員

質問 一般会計予算額は前年度比11・7%増の165億7500万円となっている。予算額が増えた一番の要因は「ふる

さと納税寄附額」が令和5年度10億円を突破したことである。令和5年度が10億円、令和6年度が15億円と増加し、担当課業務を評価したいと思う。今後も増加傾向にあると考えると、寄附金の使い道を見直す必要があると考えているが市長の考えは。

答弁 今迄、ふるさと納税寄附金は市民生活に直結した消費喚起策「助かつ券」などに使用してきた。市長お任せコースを含め見直し、積立や有効的な使用基準を協議したいと考える。

議案第2号

令和7年度鹿島市一般会計予算について



松田 義太 議員

質問 令和7年度予算において、市債（借入金）約133億円、財政調整基金約7億4千万、その他基金の状況含め、厳しい

い財政状況である。今年度はDX推進や脱炭素社会の実現を主要事業として取り組む事になっているが、今後、給食センターの改築、庁舎の耐震化、市内公共施設の維持管理と多額の予算規模の事業が控えている。中長期的な行財政運営に努めてほしい。

答弁 限られた予算の中で、選択と集中など収支のバランスを図りながら、市債の発行の適正管理など計画的な財政運営に努めていく。

議案第11号、13号

特別職の給与及び報酬額の改定について



宮崎 幸宏 議員

質問 コロナ禍により日本の経済が疲弊したところに、電気・ガス、ガソリン、食料品等がありとあらゆる物価が高騰してい

る中、鹿島市事業においては、水道、下水道、給食費が値上がりとなり、市民は生活するのに窮している状況である。加えて、鹿島市の民間企業においては、一部の主要企業の賃金UPはあれども、ほとんどの会社では賃上げに至っていないと思われる、多くの市民にとって、所得増の実感はなく、

この物価高騰はかなりの負担となっている。このように、鹿島市民が厳しい生活を強いられている時期に、なぜ市長、副市長及び教育長の給与並びに市議会議員の報酬額の増額改定をしなければならぬのか。理由を伺う。

答弁 特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、総合的に判断した。

議案第26号

市内での道路陥没事故の発生状況について



中村 一彦 議員

質問 今年1月に埼玉県八潮市では道路陥没事故が発生した。近年では、全国で水道管や下水道管の老朽化による事故が多

数発生している。鹿島市ではこのような老朽管の破損による道路陥没事故は発生していないのか、またその対策はどうしているのか。

答弁 管の漏水によって発生する大きな事故は鹿島市では発生していない。令和6年度から重点的に老朽管を毎年約3km更新

する予定。また能登半島の大規模地震による国の補正予算が出てきて、鹿島市が該当したので有利な補助メニューにより水道管を更新する。

議案審議

## 鹿島市制施行70周年記念事業「議場開放コンサート」



2月20日（木）9時25分～9時45分、3月定例市議会の開会に先立ち、多くの皆様が市議会へ気軽にお越し頂くきっかけとなるよう、議場開放コンサートを開催しました。

出演者は、日本ハーモニカ芸術協会公認指導員 師範の山口秀子氏（※複音ハーモニカコンクール ソロ部門ミドルの部全国優勝等の実績あり）で、「夕やけの道」、「花は咲く」等4曲が披露され議場にハーモニカの音色が響き渡りました。



新年度予算審議 討論

【反対討論】

松尾 征子 議員

鹿島駅周辺整備事業に令和7、11年までに8億2千万円今年度駅周辺整備事業4億59万円。関連事業に1億76万円。町の賑わいを広げるということ。その保証はない。同和事業についてはこれまでと全く変わらず、団体丸抱えの補助金で公平公正な問題については何も変わっていない。学校給食費小学6年生・中学3年生は無料化を取り組み、他の児童生徒については値上げをするということ。どの子も同じに扱わなくてはいけない。無駄な大型事業。行財政運営の不正許せない。

【賛成討論】

中村 一堯 議員

一般会計予算は総額1億65億7500万円で編成されており、前年比17億3500万円の増となっている。歳入では個人市民税等の増加により前年より

2億596万円の増、地方交付税も全体枠で1・6%増額、ふるさと納税は過去最高の15億円で安定した歳入を確保している。歳出ではDX推進脱炭素社会の実現をはじめとした重点施策を中心に鹿島市の長年の課題であった給食費の一部無料化や婚活支援事業を新年度に計上し、進化する鹿島の創造」、「連携による地域の輪の広がり」を実現するような歳出予算となっている。

新年度からは肥前鹿島駅周辺整備事業も動き出し、鹿島市の新たなスタートとも言える新年度予算について賛成する。

宮崎 幸宏 議員

本件一般会計予算には、令和7年度より開始される肥前鹿島駅周辺整備事業費の一部である約4億700万円が計上されている。鹿島市が佐賀県との共同で行う総額53億円の大規模公共施設（ハード）事

業のうち、鹿島市の負担額10億円には、市民の税金（一般財源）と次の世代が負担する借金（市債）が含まれている。これから鹿島市において、肥前鹿島駅周辺整備以外に、し尿処理センターの大規模改修に約34億円のうち鹿島市の応分負担、給食センターの更新に約20億円が予定され、さらに間もなく耐用年数を迎える市本庁舎や中学校等の公共施設及び道路等のインフラ施設の維持管理や更新に多額の財源が必要となり、加えて少子高齢化に伴い税収は減少し、社会保障経費等が増大する中、本事業に対する高額の投資に懸念がある。

このようなことを踏まえて、本来であれば、肥前鹿島駅周辺整備の事業費や事業効果に関して慎重な協議を必要とするが、他の一般会計予算との兼ね合いがあるため、肥前鹿島駅周辺整備事業費の一部を含めた令和7年度予算には賛成するが、決して肥前鹿島駅周辺整備事業全体を認めることではない。

鹿島市手話言語の理解及び普及促進に関する条例の制定について

【賛成討論】

杉原 元博 議員

議案第8号「鹿島市手話言語の理解及び普及促進に関する条例の制定について」賛成の立場で討論する。手話言語条例とは、手話は言語であるという認識の下に、手話への理解促進や普及啓発、手話を使用し易い環境整備などの施策を推進する事を目的とした条例。手話を使う人が自立した日常生活を営み、社会参加をし、心豊かに暮らす事が出来る地域社会の実現に寄与する事を目指している。

昨年2月頃より行われた鹿島市話サークル主催の「手話言語条例制定に向けての学習会」に毎回参加し、聴覚に障がいがある方々の切実な体験を手話を交え語られていた事を忘れる事が出来ない。誰も取り残さない社会の構築の為、聴覚に障がいがある方が意思疎通しやすい環境の整備、

市民への理解と普及の為にも条例の制定が重要。鹿島市とともに私自身も聴覚障がい者をはじめ市民の皆様へ寄り添い後押しをしていく事をお誓い申し上げ賛成討論とする。

市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定について  
教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について

【反対討論】

宮崎 幸宏 議員

コロナ禍により経済が疲弊したところに、電気・ガス、ガソリン、食料品等ありとあらゆる物価が高騰している中、鹿島市事業においては、水道、さらに下水道、給食費までが値上げとなり、市民生活は窮している状況である。

それに対して、賃上げの影響は至っておらず、多くの市民は所得増の実感がないと思われる。まずは、令和7年度予算に計上されている経済状況、市民の生活環境下、市議会の事業を踏まえて、市長、副市長及び教育長の給与並びに市議会議員の報酬額については、もっと慎重な議論が必要であり、現段階において増額改定するべきではないため反対する。

一般質問に11人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

3月17日、18日、19日、21日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【3月17日】



釘尾 勢津子 議員  
松尾 征子 議員  
福井 正 議員

【3月18日】



杉原 元博 議員  
中村 日出代 議員  
笠継 健吾 議員

【3月19日】



樋口 作二 議員  
宮崎 幸宏 議員  
角田 一美 議員

【3月21日】



勝屋 弘貞 議員  
池田 廣志 議員



釘尾 勢津子 議員

安全・安心なまちづくり

「小さな政府・安い税金」を目指した事務事業評価について

【質問一】 目的について。

答弁 事業の実績を振り返り、費用対効果や手法などを検証することで、次年度以降の見直しにつなげていくことが目的であり、実施計画を策定するうえで必要な手法であると認識している。行財政改革プランにも効果的かつ効果的な行政運営と安定的かつ健全な財政運営を図ると位置づけている。

【質問二】 現状について。

答弁 前年度の実績に基づき、担当課が事業ごとに「事業の実績」、「事業の効果」、「課題」、「今後の事業展開」、「総合計画における目標の進捗率」などの項目を検証し、事務事業評価表

を作成している。

【質問三】 成果と課題について。

答弁 成果として担当課が事業の実績を検証・分析することで、次年度以降の実施計画策定につなげている。課題として、当初予算を見据えて、限られた人員と財源等を気にし、斬新な施策のアイデアが出にくい現状がある。今年度より実施計画策定前に「財源等に縛られず、自由な発想」で策定をお願いし、徐々に成果がみられている。

地域交通について

【質問】 地域公共交通「市内循環バス」の利用・エリア拡大について。

答弁 エリア拡大だけでなく、交通空白地対策、運転手不足など課題はたくさんあり、どうすれば負担を抑えながら、利用

市道の整備について

【質問】 市道28号・29号の整備について。

答弁 市道28号については、令和7年度早急にL800m区画線の整備を実施します。市道29号については、側溝整備完了後舗装補修工事を予定し、令和7年度当初予算に計上しています。









笠継 健吾 議員

## 予約型のりあいタクシーの件

**質問一** R5年10月より運行開始、乗車実績はどうか。

**答弁** R6年度 能古見線1798便・1便当たり1・6人 古枝線1040便・1便あたり3・5人 北鹿島線80便・1便あたり1・3人である。

**質問二** 良い点は、自宅まで送り迎えがある。しかし降りる場所が少なく不便。声をかけて降車できないか。

**答弁** 広範囲の運行であり、フリー降車は通常のタクシーと同じでありでない。

**質問三** 降りる場所を増やすことができないか。

**答弁** 具体的に降りる希望の場所を伺い、検討する。

**佐賀県営ダムの中木庭ダム周辺の活性化について**

**質問一** 地球温暖化の中、中木庭ダム周辺の自然環境の活用をどう考えるか。

**答弁** 中木庭ダム周辺は、自然環境を活かせクローブアップされるところと思う。

**質問二** ダムの上流は100メートル程の浅瀬があり、夏場は水遊びで賑わうが、整備ができないか。

**答弁** 除草や石を整備する等のできることは検討していく。

**質問三** あじさい祭り、水遊び等に多くの人が訪れる。食事処は好評である、その建物を開放的に造り、ゆつくりでき休める簡素な建物ができないか。

**答弁** 一遍に大がかりな物はできないが、少しずつ手を加えることはできると思うので検討する。

## 鹿島市の上水道の現在と将来について

**質問一** 鹿島の上水道は井戸水であり、水量は安定しているか。

**答弁** 12個の井戸より地下水をくみ上げ、配水池より各地域に給水している。自然水位に変化無く賦存量に問題ない。

**質問二** 井戸水の水量不足となる危険性をどう考えるか。また将来の安定した水確保はどう考えているか。

**答弁** 井戸が劣化し、集水能力の減少は考えられるが、井戸の新規整備はない。井戸の状況を観ながら将来は中木庭ダムの水利用となっていく。大木庭浄水場の整備も大きな費用となるため、最低限の整備計画を慎重に計画していく。



宮崎 幸宏 議員

## 鹿島市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

**質問一** 「鹿島市公共施設等総合管理基本方針」とはどのような考えか。

**答弁** 市民サービスの拠点となる公共施設の安全性や機能の維持、公共施設の適正配置の実現とそれに伴う財政負担の軽減、平準化を目的とし、公共施設等について総合的かつ計画的な管理を推進する。

**質問二** 多数整備してきた公共施設等の老朽化対策に関してどのような計画があるか。

**答弁** 公共施設等総合管理基本方針に基づき、法定耐用年数+10年を目標に各施設の整備計画を策定し長寿命化対策と維持管理を行いつつ、人口減少や少子高齢化を見据えた公共施設の再編や統廃合が必要となるため、令和7年度から「公共施設の在り方」について組織

的（公共施設マネジメント室新設）に検討していく。

## 鹿島市の学校施設

**質問** 学校施設の長寿命化改修や建て替え等の計画とともに、小中学校の小規模化（児童・生徒数の減少）に伴う学校の適正化をどのように考えているか。

**答弁** 築40年以上経過した学校施設は長寿命化改修等による老朽化対策を行っていく。

なお、少子化や児童・生徒数の減少が学校教育に及ぼす影響を鑑みると学校施設の適正規模や適正配置について検討する必要がある。

## 鹿島市の地域公共交通

**質問** コミュニティバスのりあいタクシー等の地域公共交通の課題（非



AI活用型オンデマンドバス

効率、ドライバー不足）に対する新しい交通サービス「Maas（マース）」の活用を考えはあるか。

**答弁** 利便性低下やドライバー不足、公共交通空白地等の課題解決のために「AI活用型オンデマンドバス」や「ライドシェア」等の活用を検討し、鹿島市に相応する効率的かつ持続可能な公共交通に取り組んでいく。



樋口 作二 議員

## 私たちの暮らしとごみ問題

### 燃えるごみについて

**質問一** 家庭などから出るごみの量と処理費用はどれくらいか。

**答弁** 6000tを超え、佐賀西部広域環境組合の負担金は、約2億5千万円である。

**質問二** 燃えるごみの中で生ごみの占める割合はどれくらいか。

**答弁** 約4割が生ごみで、そのうちの水分を燃焼させるため多くの燃料が使われている。

**質問三** 鹿島市も燃えるごみを減らそうと努力しているが、全国のランキングではどの位置にあるのか。

**答弁** 令和4年度の集計で、一人当たり一日753gで全国1718自治体の349番目だった。

**質問四** 燃えるごみを減らすための方策は。

**答弁** 平成27年から納富

### 資源ごみ(特にプラスチック)について

**質問** 資源ごみの分別や資源としての利用の実態はどうなっているか。

**答弁** 資源ごみは7種類に分別収集され、中尾リサイクルセンターで処理され業者に引き取られていく。それぞれ建築資材などに利用されているが、ペットボトルは企業と連携して再度ペットボトルとして利用する取り組みを行っている。

### 鹿島市のごみ問題への対処について

**質問** マイクロプラスチック問題や不法投棄などごみには様々な問題点があるが、今後どのように対処していくのか。

**答弁** プラスチックごみ



手作業によるプラスチック分別

は最終的に海へ流れて集まり分解が困難なので海洋生物に大きな悪影響を与えている。又プラスチックは細かく砕かれてマイクロプラスチックになり、食物連鎖で人の健康にも影響があるといわれており、気がかりである。不法投棄はあってはならない行為であり、しっかりと注意喚起を促していきたい。また、燃えるごみの最終処分場は有田町にあり、あと数年で満杯になるので、燃えるごみの量を減らす取り組みもさらに強化していかねければならないと考える。



角田 一美 議員

## 放課後児童の安全な遊び場の確保について

**質問一** 鹿島小学校放課後児童クラブの遊び場と少年野球クラブ練習場所が一部競合し危険、安全対策の現状と今後の方針を問う。

**答弁** 月・水・金の16時以降1時間程度一部が競合し危険と認識、双方の指導者2・3人の協力を得て配慮頂いている。

**質問二** 隣接の旧横田堤が荒れ地のまま放置されている。埋立を行い遊具施設を移転できないか。

**答弁** 運動場の排水が旧横田堤に流入しておりこれまで排水路の整備を進めてきた。令和7年度から公共工事の残土処分で随時埋立を行い整地を進めていく。

### ふるさと納税寄付金の活用について

**質問一** 令和5年度の寄付額10億7,249万円、

令和6年度も2月末現在14億円を突破、急増の要因は何か。

**答弁** 令和5年10月の制度改正に伴う駆け込み利用増と、令和6年度からポータルサイトの委託先を5社追加、返礼品の地場産品の開発と提携先の広報効果が大きい。

**質問二** 提携のポータルサイトは何社か、返礼品売り上げ上位5社の順位と人気ランキングベストの品目、寄付額価格帯はどの位か。

**答弁** ポータルサイトは14社と提携、1位 Rakuten、2位ふるさとチョイス、3位ふるなび、4位さとふる、5位ANAの順。返礼品人気上位は、①旬おまかせ野菜BOX、シャインマスカット等農産物50%②豚まんぷくセット、佐賀牛食比べセット等畜産物30%

③新撰佐賀のり焼海苔全形8枚4袋等海産物10%④加工品10%の順で価格帯は約半分が1万円である。

**質問三** 基金の活用方針と令和6年度の実績、市長おまかせ分の事業費充当の方針をお尋ねする。

**答弁** 寄付の際に7事業分野と市長おまかせ分から選択して頂き基金に積み立て、寄付2年後に取り崩すのではなく、各年度の予算編成の中で総合計画実現のための施策事業に全体の予算編成の中で一般財源不足分を補填充当している。



鹿島市議会  
議長 徳村博紀様

令和7年3月12日

新年度予算審査特別委員会  
委員長 角田一美

## 新年度予算審査特別委員会 審査報告書

令和7年3月3日の本会議において付託されました下記6議案については、3月5日、6日、10日、11日及び12日に質疑審査を行いました。

審査の結果は、下記全議案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

記

- ・議案第2号 令和7年度鹿島市一般会計予算について
- ・議案第3号 令和7年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- ・議案第4号 令和7年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- ・議案第5号 令和7年度鹿島市給与管理特別会計予算について
- ・議案第6号 令和7年度鹿島市水道事業会計予算について
- ・議案第7号 令和7年度鹿島市下水道事業会計予算について

## 【議案第8号 文教厚生産業委員会審査報告】

2月27日の本会議において文教厚生産業委員会に付託されました『議案第8号鹿島市手話言語の理解及び普及促進に関する条例の制定について』、3月4日に委員会を開催し、採決の結果、全員起立で可決された。

(執行部からの説明趣旨)

手話は手や指、顔の表情、体の動きなどを用いる独自の言語体系を有し、ろう者が自由に意思を表現し、情報を受け取り、自分らしく生きるための大切な言語である。ろう者の権利を保護し、社会参画を推進するためには、手話言語に対する認知を向上させる必要があり、手話言語の普及を促進する取組が欠かせない。市民誰もが手話を学び、手話を理解し、手話を自らの意思疎通の選択肢として広げることができる環境を整備し、もって聴覚障がいのある有無にかかわらず、手話を通じて全ての市民が心を通わせ、みんなが住みやすく、笑顔あふれる地域共生社会の実現を目指し、この条例を制定するものである。施行期日は、令和7年4月1日。

(主な質疑応答内容)

【質問】 基本理念は誰が考えたのか。

【答弁】 前文を踏まえつつ、他の先行自治体の条例等を踏まえながら担当課より提案し、当事者や関係団体との意見交換を踏まえたうえで規定。

【質問】 条例が制定されれば施策を行っていくうえで予算が必要になる。一過性のものではなく継続していかなければならないと思うが、どのように考えているか。

【答弁】 令和7年度新年度予算で提案しているところである。条例が制定されれば、当事者や関係団体等と協議しながらどういったものが効果的なのか再度話し合いの機会を持ち、補正予算という形で条例に基づいた施策に関する予算を提案できればと考える。

【質問】 小さい時から身につけることが大事だと思うので指導者の育成についても市が積極的にしなくてはいけないと思うがどのように考えているか。

【答弁】 教育委員会であったり幼児教育の現場であったり、関係者と協議しながらどこまでできるのかを調整していきたい。

【質問】 これまでどんな施策に取り組んできたか。

【答弁】 手話奉仕員養成研修、手話通訳者派遣。具体的にはガタリンピックなどで手話通訳を依頼された場合に申込手続きを行ったりしている。また、杵藤地区管内で実施している手話奉仕員養成講座の事務局を6年に1度市が担う。

【質問】 今回取り組まれるようになった背景は。

【答弁】 障がい者に関する様々な法律がたくさんできた。法律にもとづいて施策をしていく中で人権擁護のための制度整備が図られてきた。社会においても障がいのある人の権利に関する意識が高まってきた。



## 勝屋 弘貞 議員 鹿島市の教育について

**質問一** 鹿島高校普通科の入学志願者低迷について市の見解を問う。

**答弁** 本市の街づくりとも重なり重要な課題だ。これまで以上に情報の共有や交流など、高校との連携を図り、魅力的な学校となるよう支援していく。

低迷の原因として大きく4点。①生徒数自体の減少。②普通科自体への希望者の減少。③学区が廃止され選択幅が広がったこと。④中高一貫校が増えたこと。

志望校は生徒・保護者が最終的に選択するものであり、市や学校が強要することはできないが、学力保障や教育環境の充実が大切と捉えて力を入れている。

の事を教えながら鹿島の魅力発信をしたりしている。来年度はプサン大学との交流として短期留学の枠を増やす予定だ。

**質問二** 教育DXについて。GIGAスクール構想の中、第2期の新たな動きとしてICT環境整備3ヶ年計画が打ち出されているが。

**答弁** 令和2年に生徒一人に1台の端末を整備し、令和3年から英数を中心にデジタル教科書、デジタルドリルなどの本格的な活用をしている。学習進度や個性に合わせて学びを深めることや、子どもたち自身が問題を設定し、情報収集や意見交換を行い解決策を導き出すための学習など、情報活用能力や問題発見解決能力を育むため環境整備等に取り組んでいく。



必要なICT環境水準が示されており、学校のネットワーク環境、端末や電子黒板の充実、ICT支援員の体制づくり、施設・アプリケーションの整備などが主な視点となっており、整備を進めていく。



## 池田 廣志 議員 安心・安全で、みんなが暮らしやすい街づくりについて

**安心して暮らせる溜池の維持管理を**

**質問** 市内には17カ所の防災重点溜池と国管理の4溜池と農業用溜池13カ所が、山麓を中心に点在しており、国管理以外の30溜池の維持管理は、周辺住民の方々と農業従事者が行っているが、高齢化や後継者の減少等で参加者が減り、年々、維持管理が困難となっている。また、溜池本体が古くなっているため、恒久的な安全対策は。

**答弁** 市内には、30カ所の農業溜池があり、周辺にお住いの方々と農業従事者が、草刈りや排水路の維持管理を行って居られるので、それに要する経費を補うために、市では、対象面積比により、多面的機能支払交付金を支給し、除草作業の日当

や無線操縦の草刈り機を購入して、作業されている。その地域に合った交付金の活用策について、ご相談を受け付けている。また、防災重点溜池や古い溜池は、溜池本体の保全に向け、地震等への対策として、耐震調査や溜池本体の劣化状況調査を今年度末までに完了させ、恒久的な安全対策を実施している。また、経年劣化で、漏水している2溜池は、今年度中に漏水補修工事を完了し、下流域に住む市民の方の安全を図っている。

### 有明海再生への取り組みについて

**質問** 有明海再生への大切な取り組みの一つとして、有明海西部海域の海況が、特に厳しい状況なので、ノリの生産時期に塩田川水系と中川水系の

県営3ダムと市内30溜池貯留水の放流を市の働きかけで、実現して欲しい。

**答弁** 近年、冬場の雨量の少なさから、地元の漁業協同組合では、ダムや溜池の管理者に放流を依頼されているので、市としても、下流域にある可動堰やダム等からの流下水量の確保に努めていく。

### 元鹿島総合庁舎跡地の活用策について

**質問** 元鹿島総合庁舎跡地が放置されているので、跡地の活用策は。

**答弁** 跡地の敷地面積は約9300㎡の更地で、現在、具体的な活用策は無いが、今後、利活用策が出てくれば検討をする。



### (3) 活動方針

現況の把握、課題の整理 ➡ 課題の調査研究 ➡ 対策の検討、政策の立案

### (4) 活動実績

1) 委員協議会 7回 2) 行政視察 3回

取り組みテーマに関して市担当部署と意見交換会を行い、課題及び対策方針を共有した。行政視察した各自治体、各事業において、「高速道路の整備」「地域公共交通サービスの確保」「デジタル社会の実現」「企業誘致による税収及び雇用の拡大」等の効果的な成果となっているとともに、自治体においては、ふるさと納税寄付金を原資とした好循環な事業を展開しており、「鹿島市の政策」としての参考事例となった。

### (5) 中間まとめ

- ① 有明海沿岸道路
  - ・周辺の国道や県道等の交通混雑の緩和と交通安全性の向上
  - ・佐賀市や福岡県筑後地域等の有明海沿岸の自治体間の交流促進と連携強化
  - ・佐賀唐津道路を経由し、長崎自動車道と接続され、高速道路による広域かつ高速移動ができる交通ネットワークの形成
- ② 公共交通
  - ・長崎本線の特急減便及び廃止に伴う利便性の低下が最大の課題
  - ・路線バス等における利用者の減少に伴う不採算、非効率、さらにドライバー不足
  - ・新しい交通サービス「MaaS（マース）」のAI活用型オンデマンドバスやライドシェアの検討、導入
- ③ 企業誘致
  - ・IT事業等の事務系オフィスの誘致
  - ・中心商店街の空き店舗や空きテナントをサテライトオフィスとして活用
  - ・広域幹線道路の整備動向を見据えた国道207号鹿島バイパスの沿道開発
- ④ 肥前鹿島駅周辺整備事業
  - ・肥前鹿島駅周辺を「スローツーリズムの拠点」とする整備
  - ・駅周辺施設及び中心商店街に「市民参加」や「賑わい」を創出
  - ・費用対効果があるコストを意識した事業

## 【環境未来都市特別委員会中間報告】

初年度の昨年は、脱炭素など鹿島市の環境施策を検討と森林の在り方について考える活動が中心であった。本年度は、鹿島市の里地や私たちの暮らしの在り方について考える活動を中心とした。2年間に一度の行政視察は、すぐに鹿島市の政策に生かせるよう、SDGsの取り組み、農業の在り方、エネルギーの地産地消の取り組み先進地を訪れた。以下、視察内容。

- 福岡県大牟田市：全学校、全市を挙げてのESD（SDGsの普及教育活動）への取り組み。
- 宮崎県綾町：早くから有機農業に取り組み、農作物の有機認定を自らの基準で行って販売する活動を展開。また、広大な照葉樹林を生かし街の活性化を図る。
- 宮崎県延岡市：海・山の豊かな食材で市民の地産地消に努める。
- 福岡県みやま市：自ら発電した電気エネルギーで市の電力を賄い、省資源には欠かせないエネルギーの地産地消を実践。

次に「私たちの暮らしと省資源」というテーマで、中尾リサイクルセンターを見学した。とても衛生的な環境の中で、私たちが出すごみの資源活用のため、徹底的な分別をされているのにとっても感銘を受けた。また、オレンジ海道沿いのごみの不法投棄箇所も視察し、後日、鹿島市環境衛生推進協議会の活動に参加して、ごみの撤去作業を行った。

最後に、小規模無農薬・無化学肥料の農作物生産をされている畑と大規模に開発中の樹園地を見学し、鹿島市の面積の20%ほどを占める中山間地をどう活用すればいいかを考えた。

## 【総務建設環境委員会行政視察報告】

### ●日程

令和7年1月21日～1月23日

### ●総務建設環境委員会の視察参加者

委員長 池田廣志 副委員長 杉原元博  
委員 宮崎幸宏 樋口作二 松田義太 勝屋弘貞 福井 正 中村和典

### 1、香川県坂出市(1/21) 人口47,988人、世帯数21,195世帯

〔防災スペシャリストの取り組みについて〕

坂出市は、島・海・里山と自然豊かな地域で、中国自動車道と四国を結ぶ瀬戸大橋が架かり、中国地方と連絡する海上交通の要衝として発展してきたが、30年前の「阪神淡路大震災」の際に、当時の地域防災計画では、人数不足等で、指揮命令系統でうまく機能しなかった反省と、「南海トラフ巨大地震」が、いつ起きてもおかしくない社会情勢の中で、2019年4月に「坂出市防災・危機管理スペシャリスト設置要綱」を作成し、力強い防災対策を実施されており、安心して暮らせる街づくりについて、視察した。

### 2、徳島県鳴門市(1/22) 人口53,237人、世帯数26,156世帯

〔備えない防災「フェーズフリー」の取り組みについて〕

鳴門市は、瀬戸内海に面しているため、平成30年に、「鳴門市地域防災計画」の中に、全国に先駆けて、平常時や災害時などの社会の状態に関わらず、いずれの状況下においても適切な生活の質を確保するための「フェーズフリー」の考え方を取り入れ、暮らしの中に「平常時」と「災害時」に活用できる物やサービスで、日常の備えをする取り組みである。毎年、「津波防災の日」を設定し、「鳴門市フェーズフリーフェスティバル」を開催し市民等の意識付けを図られている。また、防災機能を有した道の駅「くるくるなると」も現地視察した。



コミュニティー機能をもった遊び場空間屋上



フェーズフリーアワード2023道の駅「くるくるなると」

### 3、徳島県徳島市(1/23) 人口244,959人、世帯数122,596世帯

〔徳島市まちづくり協働プラザの運営について〕

徳島市は、水郷の街で、中央部にあるJR徳島駅を中心に市街地が形成され、四国遍路の出発点として親しまれ、夏の阿波おどりははじめ、伝統文化が豊富な地域として発展してきた。しかし、30年前に大型百貨店の閉館が続き、歩行者の通行量も減少し、街の衰退傾向が続いたので、JR徳島駅前の商業施設をリニューアルし、市民の交流拠点施設を整備し、人と人が繋がる取り組みを始められると共に、市等に対し、政策や事業提案などが出来る人づくりに努められている。

なお、今回の視察内容は、「鹿島市の政策づくり」に生かせるように検討する。

## 【地域交通まちづくり特別委員会中間報告】

### (1) 地域交通まちづくり特別委員会

委員長 伊東 茂 副委員長 宮崎幸宏  
委員 笠継健吾 杉原元博 松田義太 福井 正 松尾征子 徳村博紀

本委員会では、人口減少や少子高齢化等の社会問題を抱える鹿島市にとって、「地域交通」や「まちづくり」が喫緊の課題と捉えており、これらの課題を解決するべく政策に鋭意取り組んでいる。

### (2) 取り組みテーマ

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1) 地域交通   | 2) まちづくり      |
| ① 有明海沿岸道路 | ③ 企業誘致        |
| ② 公共交通    | ④ 肥前鹿島駅周辺整備事業 |
| 公共交通      | コンパクト         |
| ネットワーク    | シティ構想         |



# 議会あれこれ (令和7年1月～3月)

## 1月

8日 文教厚生産業委員協議会  
8日 臨時議会運営委員会  
9日 議会だより編集会議  
16日 議会だより編集会議  
17日 佐賀県市議会議長会  
21日 総務建設環境委員会行政視察 (～23日)  
24日 総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会  
議会報告会プロジェクト会議  
29日 臨時議会運営委員会  
31日 文教厚生産業委員会  
全員協議会  
議会情報発信・議場開放プロジェクト会議

## 2月

4日 議会運営委員会  
5日 鹿島藤津地区衛生施設組合議会  
7日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
議会報告会プロジェクト会議  
10日 総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会  
14日 議会報告会  
17日 環境未来都市特別委員会視察  
18日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会  
議会運営委員会  
20日 議場開放コンサート  
3月定例会 開会 (～3月25日)  
総務建設環境委員協議会  
21日 杵藤地区広域市町村圏組合議会 開会  
25日 佐賀県西部広域環境組合議会  
26日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会  
27日 全員協議会  
3月定例会 議案審議

## 3月

3日 3月定例会 議案審議  
臨時議会運営委員会  
4日 文教厚生産業委員会  
5日 新年度予算審査特別委員会 (～12日)  
10日 議会報告会プロジェクト会議  
12日 総務建設環境委員協議会  
17日 3月定例会 一般質問 (～21日)  
19日 議会情報発信・議場開放プロジェクト会議  
臨時議会運営委員会  
21日 臨時議会運営委員会  
総務建設環境委員協議会  
25日 全員協議会  
3月定例会 閉会  
臨時議会運営委員会  
全員協議会  
26日 杵藤地区広域市町村圏組合議会 閉会

## 行政視察受入状況(令和7年1月～3月)

1月30日 北海道帯広市議会 市政会 (4名)  
2月 5日 愛知県岡崎市議会 自民清風会 (6名)

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

	1月		2月		3月		合計	
区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意	0	0	0	0	2	44,000	2	44,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	4	27,000	1	8,000	1	6,000	6	41,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	27,000	1	8,000	3	50,000	8	85,000

## 議員のハラスメントについて

市民や市職員の皆様にご迷惑をおかけして申し訳ありません。議員のハラスメントには厳正に対処いたします。

【議会としての今後の対応について】

- 早急な対応策 1. 威圧的・高圧的な言動の禁止 2. 職員を長時間拘束しない  
3. 執務室への入室禁止(各課来客用デスクにて対応する)  
4. 資料の過剰請求は控える(職員の業務に支障をきたすような量)  
○今後の対応策 6月定例会において議員提案で今回の調査結果を踏まえた、ハラスメント防止条例(仮称)を制定する。

## 編集後記

今年の酒蔵ツーリズムは天候にも恵まれ、顔を赤らめて両手に大荷物を持った多くのお客様で賑わいました。今回、開会セレモニーは鹿島駅前の祐徳ビル跡地で行われ、駅に到着した電車からお客様が湧いたかのように降りてこられるのを見て、大きなイベントに成長したことを心から嬉しく思った次第です。

県・市の新年度予算において多額の費用が承認され、これから鹿島駅周辺の本格的な整備が始まります。交流循環の拠点や街の玄関口、スロツーリズムの拠点、賑わいの拠点など、新たな顔を持つ鹿島駅の誕生が待ち遠しく思われます。

今回で我々は任期満了となり、次号からは新たなメンバーが編集を受け持つこととなります。少しでも読みやすい紙面づくりをと心掛けてきましたが、いかがだったでしょうか。「議会だより」に目を通して頂き、改めて感謝申し上げます。

## 令和6年度 かしま議会だより編集委員会

委員長 勝屋 弘貞  
副委員長 宮崎 幸宏  
委員 松尾 征子  
委員 杉原 元博  
顧問 中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。